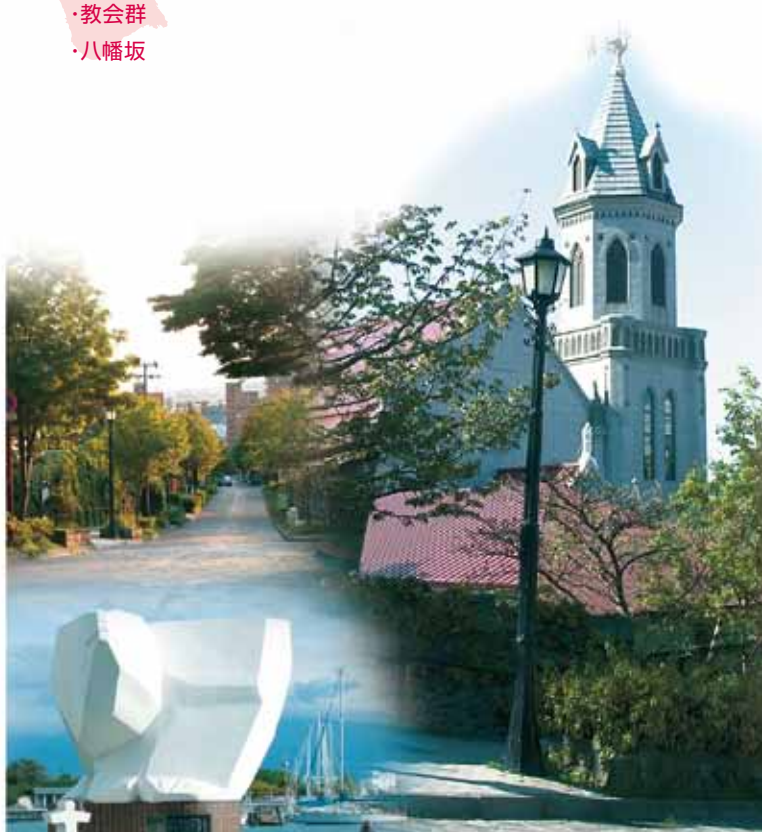
函館 まちあるきマップ 2

てくてく坂道 大三坂・八幡坂編

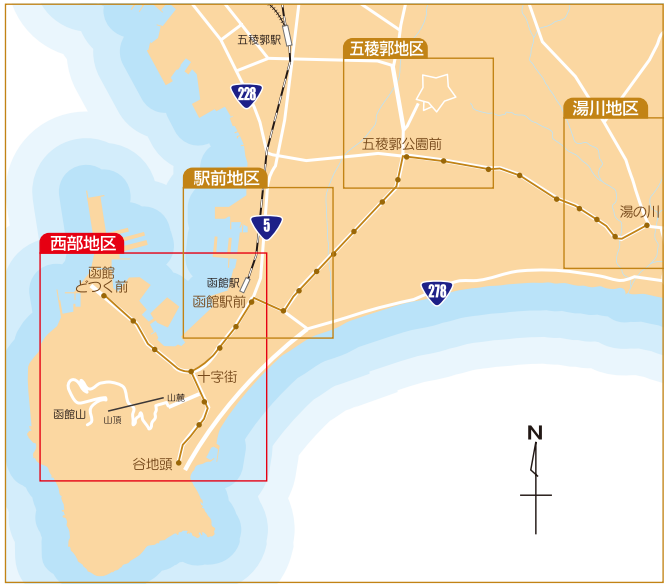
～坂が織りなす異文化のタペストリー～

所要時間 60分　距離 1.3km　消費カロリー 180kcal

- ウイニングホテル
- 北海道第一歩の地碑 東羽間桟橋（旧桟橋）
- 大三坂
- 東本願寺函館別院、旧カール・レイモン居宅
- 亀井勝一郎生誕の地
- 教会群
- 八幡坂



函館全体エリアマップ



西部地区

スタート地点までのアクセス

JR函館駅から1.7km（徒歩25分）
市電（函館駅前より函館どつく前行き）7分

函館 知ってる？知ってる？

函館の坂～二十間坂～

観光客で賑わう、函館を代表する坂のひとつ。明治12（1879）年の大火後、防火線として道幅を約二十間（約36メートル）に広げたことからこの名が付きました。かつては木立が生い茂っていたことから「緑坂」と呼ばれたり、大工が多く住んでいたことから「大工町坂」とも呼ばれていたそうです。ちなみに、函館山要塞に備え付けられた28cm榴弾砲（全長約3m、重さ約28トンというとても大きな大砲）は、函館山の千畳敷砲台に6門備え付けられていましたが、この坂を通って引き上げられたとも云われています。

▲函館山に要塞があった頃と思われる時代の二十間坂
※写真提供／函館市中央図書館

▲現在の二十間坂

函館市電路線図

湯の川～十字街間は6分間隔で運転しています。

7分　5～6分　16～17分　15～16分

函館どつく前 → 大町 → 末広町 → 十字街 → 魚市場通 → 市役所前 → 函館駅前 → 松風町 → 新川町 → 千歳町 → 昭和橋 → 堀川町 → 千代台 → 中央病院前 → 五稜郭公園前 → 杉並町 → 柏木町 → 深堀町 → 競馬場前 → 駒場車庫前 → 函館アリーナ前 → 湯の川温泉 → 湯の川

十字街 → 宝来町 → 青柳町 → 谷地頭

7～8分

乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な！ 市電1日乗車券販売中！ 大人600円・小人300円
お求めは車内のほか、沿線のコンビニ、ホテルなどでどうぞ！

[函館市企業局] 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730
https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/hakodateshiden/
ケータイから各電停の時刻表も見られる！

「元町・ベイエリア周遊号」元町観光にとっても便利な循環バス（バス停は主な停留所を記載）
「元町・ベイエリア周遊号」をご利用下さい。

約17分

元町 → ロープウェイ前 → 十字街 → 明治館前 → 函館駅前

元町 → イギリス領事館 → 明治館前 → 函館駅前

約14分

大人210円・小人110円

函館バス 1日乗り放題券
バス車内にて販売中！
大人800円・小人400円

[函館バス株式会社]
函館営業所／函館市高盛町10番1号
TEL.0138-51-3135

函館市公式
観光情報サイト "はこぶら"
https://www.hakobura.jp/

フェスティバルタウンはこだてサイト
festival town HAKODATE 函館イベントガイド HAKODATE EVENT GUIDE
https://event.hakobura.jp/

発行・お問合せ先
HAKODATE 函館市観光部 〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号 TEL.0138-21-3383

（2020年1月発行）

てくてく坂道 大三坂・八幡坂編 ～坂が織りなす異文化のタペストリー～

所要時間 60分　距離 1.3km　消費カロリー 180kcal　※消費カロリーはおおよその目安です。

スタート！ 末広町電停（函館駅前から1.7km 市電／7分 徒歩／25分）
→ 80m 2分 → 1 ウイニングホテル
→ 80m 2分 → 2 北海道第一歩の地碑 東浜桟橋（旧桟橋）※工事中
→ 320m 6分 → 3 大三坂
→ 260m 5分 → 4 東本願寺函館別院、旧カール・レイモン居宅
→ 120m 2分 → 5 亀井勝一郎生誕の地
→ 230m 4分 → 6 教会群
→ 170m 3分 → 7 八幡坂 ゴール!!

1 ウイニングホテル

かつての森屋百貨店の外観を再現した建物で、ホテルのほかレストランや演歌の大御所「北島三郎記念館」がある。

2 北海道第一歩の地碑 東浜桟橋（旧桟橋）※工事中

明治維新後、名実共に北海道の入り口となった函館に本州の人々が上陸し、第一歩をしるした場所。昭和43年開道100年を記念して建てられた碑。
※2018年10月～2020年3月（予定）整備工事に伴い一時撤去

3 大三坂

昔、坂の入口に大三という家印の郷宿（ごうやど）があったのでこの名が付いた。教会や洋館が並ぶ石畳の大三坂は「日本の道百選」（昭和62年）（1987）に選ばれている。

4 東本願寺函館別院、旧カール・レイモン居宅

大正4年（1915）伊藤平左衛門九世の設計により建立された日本最初の鉄筋コンクリート寺院。その後の函館の不燃建築普及に影響を与えた。平成19年（2007）に国の重要文化財指定。

「胃袋の宣教師」と呼ばれたドイツ生まれのハム・ソーセージづくりマイスター、カール・レイモンの居宅跡。

5 亀井勝一郎生誕の地

思想家・文芸評論家として著名な亀井勝一郎は、明治40年（1907）函館・元町で生まれ昭和41年（1966）に永眠した。終生函館弁を使い、函館の食を好んだ亀井の思想の根底には、函館の風土と人心があったと言われている。

6 教会群（函館ハリストス正教会・函館聖ヨハネ教会・カトリック元町教会）

函館聖ヨハネ教会、カトリック元町教会や国の重要文化財に指定されている函館ハリストス正教会が立ち並ぶ。夜はライトアップされ、幻想的な姿となる。

7 八幡坂

昔この坂の上りきったところに、函館八幡宮があったことから「八幡の坂」と呼ばれていた。CMにも多数使われており、人気のある観光スポット。

函館の坂道

異国情緒漂う洋館や、教会、和洋折衷の建物とともに函館港から函館山に伸びている幾本もの坂道巡りは、西部地区散策の楽しみの一つです。函館の街は明治11年（1878）、12年（1879）の大火で、広範囲に焼失したため、街の復興にあたり坂道の直線化と、消火を助ける防火線として基坂・二十間坂のような幅広の坂道の整備をしました。なにげなくそこに佇む西部地区の坂道は、度重なる大火に遭遇しながら、そのたびに復興し進化してきた函館の街の証の一つともいえます。